

しゃ かい ふく し きょう ぎ かい  
**社会福祉協議会**

目次

- P.1 京都市の社協行動指針を定めました
- P.2 居場所づくり活動  
見守り活動
- P.3 子育て支援事業  
日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)
- P.4 お知らせ 東日本大震災被災者支援の取組

京都市の社協は、市域の市社会福祉協議会（市社協）、行政ごとの区社会福祉協議会（区社協）、小学校区ごとの学区社会福祉協議会（学区社協）の三層で構成され、市・区・学区社協の連携、関係機関・団体との協働により、社会福祉法に基づき地域福祉活動を進めています。本年は、市社協が法人化して50周年を迎えています。

## 京都市の社協行動指針を定めました！

近年、少子高齢化の進行やコミュニティの弱体化、厳しい雇用情勢を背景に、孤独死、虐待、ホームレスなどの新しい福祉課題が深刻化し、社協においても適切な対応が求められています。

さらに、東日本大震災で明らかになった災害時要配慮者への平常時からの支援の重要性や介護保険制度における地域包括ケアシステムの来年度からの導入を控え、皆様から寄せられたご意見も踏まえて、この度、社協行動指針を定めました。

基本目標

**人に優しく、災害に強い、信頼の絆で結ばれた福祉のコミュニティづくりを進めます。**

社協の3つの役割(地域活動・相談支援・指定管理事業)と共通基盤の目標

### 地域活動の目標

- 住民相談会、住民懇談会や調査などを通じて常に住民の福祉ニーズや地域の福祉課題を把握し、関係機関・団体と共有するとともに連携を図ることにより、住民の福祉ニーズの充足や地域の福祉課題の解決に取り組めます。
- 健康すこやか学級や寝具クリーニングに加えて、身近な地域で、高齢者、障害者、児童などに対する見守り活動、居場所づくりなどの生活支援を通じて孤立を防止するとともに、災害時にも力を発揮する住民の支え合いを進めます。
- 広報・啓発、研修会、活動マニュアルや事例集の整備・活用により住民参加を促進するとともに、地域活動の担い手を育成し、活動の輪を広げます。

### 相談支援の目標

- 関係機関・団体との定期的な協議の場や個別支援における調整などを通じて連携を深め、生活福祉資金貸付事業などの制度を活用して総合的な相談支援を展開します。
- 広報・啓発による住民の理解を深め、関係機関・団体とも連携した個別支援のネットワークを広げ、災害時にも力となれる地域ぐるみの支援を進めます。
- 研修の充実や経験の蓄積などにより相談支援の技術を向上させるとともに、日常生活自立支援事業や法人後見事業の実施などにより権利擁護を推進します。

### 指定管理事業の目標

- 利用者アンケートや第三者評価などにより利用者本位の福祉サービスの提供に取り組みます。
- 社協内部の施設や団体はもとより、社協外部の団体や施設とも相互の交流や世代間交流を図ることにより幅広い連携に努めます。
- 地域交流事業を進め、地域の声を施設運営などに反映させるとともに、平常時はもとより、災害時にも貢献できる、地域に開かれた施設づくりを進めます。

### 共通基盤の目標

- 住民の福祉ニーズや時代の変化に応じた活動や福祉サービスを提供します。
- 個人情報の保護や経理の明確化など法令を遵守し、誰もが参加しやすい組織づくりを進めます。
- 広報・啓発や研修をはじめ、あらゆる事業・活動を通じて、地域福祉の担い手の育成を進めます。

居場所づくり活動

人のつながりを大切に



北区社協では、高齢の方の介護を予防することを目的とした「健康すこやか学級」や親子が交流する「子育てサロン」の実施を進めていますが、新たに取り組みされている「居場所づくり」について、ご紹介します。

大学生の力を活かした居場所づくり～小野郷学区～

- 過疎化していく、今後のまちづくりについて、大学生と住民の交流を通して考えてきました。若い力が関わることにより、住民はわが地域の良さを再発見することができました。
- 今年度より、サロンを実施し高齢の方と学生が交流するとともに、困りごとや悩みを聞かせていただく活動がはじまりました。



地域にある福祉施設を活かした居場所づくり～金閣学区～

- 地域と施設が協力して、共に「住民が気軽に集えるサロン」づくりを目指し、まずは、高齢の方にアンケート調査を行います。
- 今後は、高齢の方に限らず、子育て中の親子や障がいのある方などさまざまな住民が気軽に集える場にしていきたいと考えられています。



見守り活動

地域みんなで支えあう



これまでより、民生児童委員や老人福祉員による、高齢者などの見守り活動が行われています。「地域全体で見守っていこう！」という活動についてご紹介します。

災害時における要配慮者支援のための把握～大宮学区～

- 住民の繋がりが希薄になる中、防災と福祉のまちづくり講座を通じ、各種団体や町内役員などの意識が変化し、互いに連携・協力していく関係づくりが進みました。
- 高齢の方で災害時に配慮が必要な方を把握し、災害にも強いまちづくりを目指していきます。



町内会との連携した日頃からの見守り意識づくり～紫野学区～

- 高齢の方が日頃の生活で不安に感じていることなどを聞きとる調査活動を行いました。
- 町内会長に協力を呼びかけ調査活動を実施したことにより、日頃から見守り意識が芽生えました。



子育て支援事業

# 子育て支援の取組がひろがっています！

「おむつがとれない」「叱り方が分からない」「周りに相談できる人がいない…」子育て中の親にとってこのような多くの不安や悩みを抱えている人は少なくありません。そんな中、親子が集える居場所をつくろうと、子育て支援の取組がひろがっています。



「ママ友が欲しい」「悩みを聞いてくれる人が近くにいて欲しい」という声をお母さん方からよく聞きます。地域のつながりが薄れていく中で、地域で安心して子育てのできる環境をつくるということは、育児不安の解消だけではなく、地域のつながりを深め、福祉力を向上するという効果があります。

北区では学区単位で定期的集える場(子育てサロン)を重点的につくることを目的に取組を進めています。

日常生活自立支援事業  
(地域福祉権利擁護事業)

# 安心して暮らしていただくためのサービスがあります

日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)は、判断能力が十分でない方(高齢の方、精神や知的に障がいのある方など)に、住みなれた地域で安心して暮らしていただくためのサービスです。



おもな支援内容

- ◆ 日常の金銭管理…家賃や公共料金など、日常必要な支払の同行・代行を行います。
- ◆ 郵便物の管理…郵便物の確認、説明を行います。
- ◆ 福祉サービスの利用援助…利用者が必要な福祉サービスを利用できるよう、困りごとがないか尋ねます。

利用に関するご相談は、下記までお問い合わせください。  
支援は、専門員(職員)と生活支援員(地域にお住まいの方)が行います。  
生活支援員は随時募集していますので、下記までお問い合わせください。

Aさんの場合

契約前

Aさんは、高齢になってから家に閉じこもりがちな生活をおくられています。Aさんは数か月に一度、生活費として大金をおろされていましたが、家の中で紛失することが続くようになりました。ケアマネジャーは、社会福祉協議会に本事業の利用を申請しました。

契約後

Aさんは毎週、生活支援員と共に金融機関へ出金に行くようになりました。少しずつお金をおろすため、お金を紛失することもなくなりました。Aさんは「家の中をきれいにするようになった。また、服装にも気を配るようになった」と話されています。

## 社会福祉法人 京都市北区社会福祉協議会

〒603-8143 京都市北区小山上総町3

TEL.(075)441-1900 FAX.(075)441-8941

京都市北区社協

検索

<http://www.kitaku-syakyo-kyoto.jp/>



お知らせ  法人設立50周年記念事業

# 福祉ボランティア 社協フェスタ

日時 平成23年10月2日(日) 午前10時～午後3時

場所 みやこめっせ

テーマ 「人に優しく、災害に強い福祉コミュニティ 京都」

日頃からの災害への備えや身近な地域での助け合いの大切さ、ボランティア活動の大切さを体感していただけるよう、いろいろなコーナーを用意しています！

※くわしくは、ポスター、チラシ、ホームページをご覧ください。



- 法人設立50周年シンポジウム  
「人に優しく、災害に強い福祉コミュニティを目指して」
- 朝の天気予報でおなじみの正木 明さんトークショー
- 地域組織・団体、ボランティアや大学、行政などの取組、東日本大震災下の取組の発信
- 子どもたちの遊び体験、防災ゲーム体験
- ユニバーサル・スタジオ・ジャパンキャラクターやエンターティナーによるステージショー
- 飲食・喫茶コーナー、被災地応援物産コーナー など

## 市社協通信

# 東日本大震災の被災者支援に 全力で取り組んでいます！



▲市長に義援金を預託

多くのご協力をいただき、ありがとうございました

## 被災地へ役職員派遣

8月末までに仙台市など宮城県下の市町村社協に職員を派遣し、災害ボランティアセンター\*の運営支援などにあたりました(延べ445名)。

4月には、村井会長などが仙台市を訪問しました。

\*災害発生時、ボランティアと被災者をつなぐ組織

## 義援金などを受付

区社協、老人福祉センターなどで受け付けた義援金2千万円は京都市を通じて被災地に、また指定のあった義援金5百万円、支援金約7百万円と見舞金百万円は仙台市社協に届けました。

## 学生ボランティアバスを運行

大学との協働で東松島市(宮城県)に学生ボランティアバスを運行しました。

実施日 平成23年4月25日(月)～同月29日(金)

参加者 32名



泥出し▶

## 市内避難者に対して 相談会や交流会を開催

8月に児童を対象にお出かけ事業を実施しました。また、高齢者を対象に次のとおり「リフレッシュと仲間づくり」の事業を予定しています。

| 実施日       | 場所                       |
|-----------|--------------------------|
| 9月13日(火)  | 山科中央老人福祉センター             |
| 9月20日(火)  | 洛西ふれあい会館                 |
| 9月30日(金)  | 伏見老人福祉センター               |
| 10月1日(土)  | 醍醐老人福祉センター               |
| 申込み・問い合わせ | 長寿すこやかセンター TEL. 354-8741 |



▲参加した児童たち

参加費  
無料

## 社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL. (075)354-8731 (代表)

社協の活動を映像で  
ご覧いただけます

京都市社協

検索

<http://www.syakyo-kyoto.net/>

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。

